

腹膜透析導入（SMAP法）

患者さま用

患者さまID：

患者さま氏名：

主治医：

担当医：

受け持ち看護師：

項目	入院	手術前日	手術当日(手術前)	手術当日(手術後)	術後（1-6日目）	術後（7日目～）	退院
達成目標	術前の不安が軽減する	手術の方法、目的について理解できる		チューブの感染、出血を起こさない	腹膜透析バッグ交換ができる CAPDノートに記載できる	出口部の正しい管理ができる 退院時の生活設計ができる	最小限の不安で退院できる 腹膜透析手技の確立
治療 薬剤 処置	家で内服していた内服薬を確認します（抗血小板薬・抗凝固薬などが中止されているか）。		手術開始前に点滴をはじめます。手術後異常なく経過した場合、抜針します。 	透析液をお腹に注入し、すぐに排液します。	腹膜透析を開始します。医師の指示にて透析液貯留、交換を実施します。 	APDを希望される場合、開始時期を相談します。 	
PD出口部	手術でチューブを出す部位に印をつけます。			創部にフィルムを貼った状態で病室に戻ります。医師の指示があるまでそのままです。		主治医にて創部を確認の後、フィルムをはがします。	
検査	採血・採尿・レントゲン・心電図の検査などがあります。				採血があります。術後1-2日目に蓄尿があります。	適宜検査があります。	
活動・安静度	特に制限はありません。		手術用の服に着替えます。手術室へ歩行あるいは車いすで移動します。	ベッドに戻ります。お部屋に戻られた後は、特に制限はありません。 			
食事	食事の内容が治療食の場合があります。		手術直前の食事は絶食です。飲水は手術3時間前から飲めません。薬は医師の指示に従ってください。 	術後、食事再開します。			
清潔	入浴をして手術に備えます。爪切りをしてください。		入浴はできません。	入浴はできません。	お身体を拭きます。	指示にてシャワー浴ができます。方法は看護師が説明します。	
排泄			朝、排便が無ければ浣腸をします。				
患者さま及びご家族への説明 栄養指導 服薬指導	入院時オリエンテーションがあります。医療制度について、地域医療連携室より案内があります。入院期間中に栄養士より指導があります。入院期間中に薬剤師より指導があります。	手術に関して、医師より説明があります。ご家族同伴でお聞きください。	ご家族は、手術予定時間1時間前には病院にお越しください。		腹膜透析に関する指導を開始します。別紙スケジュールを確認ください。ご家族もぜひ一緒に練習しましょう。	APDを選択された場合、APD手技練習を行います。 退院が近くなったら、退院前のチェックリストを用いて、退院後の生活に向けて準備を進めます。	不安な点があればお聞きください。

説明者サイン

(***)